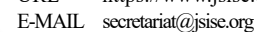


教育システム情報学会
ニュース・レター No.258





第 51 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

テーマ：新時代の教育システム情報学

<https://taikai2026.jsise.org/>

■ 開催日時： 2026 年 9 月 12 日(土) ～ 9 月 14 日(月)

■ 会 場： 徳島大学 常三島キャンパス

＊対面開催（一部オンライン発表セッションあり）

■ 主 催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ 全国大会の実施方法について

第 51 回全国大会は、基本対面形式にて実施致します（一部オンライン発表セッションも設けます）。

■ 大会日程（予定）

2 日目と 3 日目の昼休みには、企業ランチョンセミナーが開催されます。無料で配布されるお弁当を食べながら、参加企業のプレゼンテーションを聴講するセッションです（お弁当は先着順です）。

9 月 12 日（土）	
9:00~11:50	プレカンファレンス
13:00~14:10	オープニング(開催校挨拶)，特別講演
14:30~17:25	一般・企画セッション(1)(2)
17:40~18:50	インタラクティブセッション(1)
9 月 13 日（日）	
9:00~12:00	一般・企画セッション(3)(4)
12:00~13:00	昼休み & 企業ランチョンセミナー
13:00~16:00	各種表彰，メインイベント
16:20~17:30	インタラクティブセッション(2)・学生研究特別セッション
18:30~20:30	懇親会（会場：PARK WESTON（パークウエストン））
9 月 14 日（月）	
9:00~12:00	一般・企画セッション(5)(6)
12:00~13:00	昼休み & 企業ランチョンセミナー
13:00~15:30	クロージング，現地企画シンポジウム

(*) 大会日程は変更される可能性があります。

■ 交通アクセスについて

https://www.tokushima-u.ac.jp/access/shinkura_josanjima.html

<徳島駅から徳島大学まで>

- 徳島バス 徳島駅前から「中央循環線（左回り）」・「鍛冶屋原線（住吉経由）」・「島田石橋線」・「鳴門線」・「川内循環線（左回り）」・「中央市場線」のいずれかに乗車 ⇒ 「助任橋・徳島大学前」下車 ⇒ 徒歩 5 分
- 徳島市営バス 徳島駅前から「東部循環線（右回り）」に乗車 ⇒ 「助任橋・徳島大学前」下車 ⇒ 徒歩 5 分

■ 大会までのスケジュール

原稿修正が締切となっております，参加申込が開始されています．発表者には，参加申込の開始時にメールで連絡されています．

- 2026 年 6 月 18 日(木) 参加申込開始
- 2026 年 7 月 16 日(木) [発表者] 参加申込締切
- 2026 年 8 月 11 日(火) [発表者以外] 前期参加申込締切(郵便振替・コンビニ決済・クレジットカード)
- 2026 年 8 月 18 日(火) 参加費納入締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2026 年 9 月 14 日(月) [発表者以外] 後期・当日参加申込締切(クレジットカード)

■ 大会参加費

前期参加申込（発表者 7/16 まで，発表者以外 8/11 まで）	後期・当日参加申込（9/14 まで）
一般会員： 7,500 円 学生会員： 3,200 円 非会員（学生以外）： 10,800 円 非会員（学生）： 5,400 円 論文掲載料： 1,000 円（論文一編につき）	一般会員： 8,500 円 学生会員： 4,000 円 非会員（学生以外）： 12,000 円 非会員（学生）： 6,500 円
※全国大会当日，またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は，会員料金でお申し込みいただけます． [懇親会費]	
一般会員： 8,000 円 学生会員： 4,000 円	非会員（学生以外）： 8,000 円 非会員（学生）： 4,000 円

前期参加申込締切以降の申込は，後期・当日参加申込の金額が適用されます．後期・当日参加申込は，クレジットカードのみ対応しますのでご注意ください．

Web 論文集公開日との兼ね合いによりお支払い後のキャンセルは 8 月 30 日(日)までとなりますのでご了承ください．（8 月 31 日(月)以降に新規お申し込みされた場合は返金には応じられません．）

参加費等はいずれも税込みです．支払いの詳細は，大会 Web サイトをご覧ください．

プレカンファレンスの参加は自由です．これのみに参加する場合は，大会参加登録，および参加費の支払いは不要です．

■ プログラム

プログラムは変更される可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ メインイベント（9月13日（日）13:30~16:00）

「新時代の教育システム情報学 ―学びを支える技術・人・場の新しい関係―」

○ プレカンファレンス（9月12日（土）9:00~11:50）

PC1 JSiSE 論文誌の査読は何を見ているのか

―AI 生成仮想論文で解説する採録される研究と論文のポイント―

PC2 教育システム情報学における産学連携とは？

PC3 自動採点システム STACK のより発展的な活用について

PC4 MDASH リテラシー認定への戦略的アプローチ ―申請ノウハウと EZR による実戦的設計―

PC5 教育現場での心理的安全性のつくりかたワークショップ：ソマティック・リテラシー編

○ 企画セッション（9月12日（土）14:30~15:50, 16:05~17:25, 9月13日（日）9:00~10:20, 10:40~12:00, 9月14日（月）9:00~10:20, 10:40~12:00）・・・・・・・・・・（57件）

1. 新時代の教育システム情報学（4件）
2. 医学・看護教育を支える教育設計～医療×教育×情報の連携～（6件）
3. インスティテューショナル・リサーチ（IR）におけるデータ駆動型意思決定の進化：教学マネジメントとデータサイエンスの融合（4件）
4. SIG-DEPR：教育実践研究のデザインと展開：理論・実践・省察から学ぶ（8件）
5. SIG-DTCI：地域 DX による探究学習の可能性（4件）
6. SIG-ERS：防災・安全教育システム情報学ことはじめ（8件）
7. SIG-PS：教育における心理的安全性の必要性和課題（7件）
8. SIG-SLAM：認知スキーマのモデリングと学習支援システム（9件）
9. SIG-RBL：再構成学習の理論と実践（7件）

○ 懇親会

PARK WESTON（パークウエストン）にて開催

- 学生研究特別セッション（インタラクティブ（ポスター・デモ）発表）・・・・・・・・・・（12件）
- 一般セッション（インタラクティブ（ポスター・デモ）発表）・・・・・・・・・・（33件）
- 一般セッション（口頭発表：対面）・・・・・・・・・・（106件）
- 一般セッション（口頭発表：オンライン）・・・・・・・・・・（5件）

■ インターネット接続について

大会期間中は、eduroam、または、徳島大学のゲストアカウントのいずれかを利用して、無線 LAN サービスをご利用いただけます。利用方法等の詳細は、決まり次第、大会 Web サイトに掲載いたします。

■ 講演論文集について

第 45 回大会より CD-ROM での配布を廃止し、Web による配布のみとしております。Web 版の講演論文集は、2026 年 8 月 31 日(月)に大会参加者のみに公開され、2027 年 3 月 15 日(月)に一般公開されます。

■ 協賛金のお願い

大会運営のための諸費用として使用させていただく協賛金を募集しております。ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。詳細は大会 Web サイトをご確認ください。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会

E-mail : jsise-desk@conf.bunken.co.jp (@を半角に変更してください)



全国大会プレカンファレンス 質問募集
JSiSE 論文誌の査読は何を見ているのか
-AI 生成仮想論文で解説する採録される研究と論文のポイント-

担当者： 学会誌編集委員会

開催日時：2026年9月12日（土）大会1日目 9:00～11:50

オーガナイザ：後藤田 中（香川大学）、高木 正則（電気通信大学）、
山元 翔（近畿大学）、近藤 伸彦（東京都立大学）、白澤 秀剛（東海大学）、
林 佑樹（大阪公立大学）、宮澤 芳光（独立行政法人大学入試センター）、
油谷 知岐（大阪公立大学）、吉原 和明（近畿大学）

質問締め切り：2026年9月5日（土）

JSiSE 学会誌編集委員会では、全国大会プレカンファレンス企画として論文投稿に関するチュートリアルや相談会を実施してきました。今年度は内容をさらに発展させ、「教育システム情報学の研究をどのように論文化するか」をテーマに、JSiSE 論文誌における査読の視点や投稿のポイントを紹介します。

本企画では、編集委員の立場から現在の論文誌における査読プロセスや評価基準について解説します。「どのような研究が評価されるのか」「研究の価値をどのように論文として表現すればよいのか」といった観点を、具体例を交えながら共有します。

また、生成 AI を活用して作成した仮想的な研究事例を題材に、査読で評価される点や改善が求められる点を具体的に紹介します。実在の研究ではなく仮想事例を用いることで、査読者の視点や論文構成の考え方を分かりやすく学べる内容となっています。

さらに、本企画では参加者からの質問や相談を事前に募集します。論文投稿、研究計画、査読への対応などに関する疑問や相談事項がありましたら、ぜひ以下のフォームからお寄せください。いただいた内容は、当日の解説や議論に可能な範囲で反映する予定です。

【事前質問フォーム】 <https://forms.gle/h2NM2G7EhrGVh1dL7>

当日は Slido を利用し、会場からリアルタイムに質問やコメントを投稿できる環境も用意します。匿名での投稿も可能ですので、論文執筆や査読に関する率直な疑問や不安について気軽にご相談いただけます。

これから論文投稿を考えている方はもちろん、研究成果のまとめ方や査読の考え方を知りたい方にも役立つ内容です。ぜひご参加ください。

問い合わせ先： 山元翔（近畿大学） yamamoto@info.kindai.ac.jp



Information and Technology in Education and Learning (ITEL)

論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

日本教育工学会 (JSET) との合同英文誌 ITEL (Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>) への掲載原稿を募集しています。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/list/-char/ja>)。投稿後、原則、7 か月以内に 2 回の査読が終了するように配慮しています。短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。学位取得を目指されている方や留学生のみなさんからのご投稿もお待ちしております。

- 論文種別： 一般論文 (Regular Paper, 基本 8 ページ) ,
実践論文 (Practice Paper, 基本 8 ページ) ,
システム開発論文 (Development Paper, 基本 8 ページ) ,
ショート論文 (Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで)
＜これまでのショートノート (Short Note) と実践速報 (Report on Practice) を含みます＞
- 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
- 投稿要件：
 - ・論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
 - ・投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
- 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領 (Author Guidelines) 等がアップされています。
- 投稿方法：＜ [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ ＞
 - ・ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
 - ・初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
 - ・投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
 - ・投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正 (Proofreading) を受け、証明書提出を推奨しています。
- 査読方法：
 - ・投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
 - ・査読者は 2 名で、査読回数は 2 回となります (著者照会は 1 回のみ)。
 - ・評価項目は、Originality (新規性)、Usefulness (有用性)、Reliability (信頼性)、Presentation (明瞭性) の 4 項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
 - ・投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。

Editorial	Preface to Volume 5: Practices, Issues, and the Future of Generative AI in Education and Learning H. Oura and H. Kunichika
Invited Paper	Generative AI in Foreign Language Learning and Teaching: A Summary and Insights from Our Empirical Investigations A. Mizumoto
	Ethical, Legal and Social Issues in the Educational Use of Generative AI A. Kishimoto
	Transforming Education with Generative AI: Designing for the Post-Prompting Era L. Wong
Regular Paper	Usage of Junior High School English Digital Textbooks Based on Operation Logs and Its Influence on Learning Performances Y. Miyanishi, T. Nagahama, S. Nakagawa, and T. Horita
Practice Paper	Investigating the Use of a Web-based Application on Geometric Proof Understanding: A Study of Individual and Small-Group Learning in Junior High School S. Hamada, X. Geng, L. Chen, and M. Yamada
Short Paper	A Consideration of Potential Utilization of Virtual Student Avatars in Discussion Process in Small Class of Junior High School K. Kobayashi, T. Mukai, T. Yasunaga, and S. Shiota
Translation	Clarification of Eye-Tracking Patterns and Related Practical Thinking Styles of Teachers in the Classroom: A Case Study Using a Subjective Camera K. Himeno
	Relationship Between Changes in Classroom Practice and Beliefs about Teaching of Novice Faculty: A Longitudinal Study for Participants in a PFF Program Designed to Support the Introduction of Active Learning Y. Kozai, M. Taguchi

注：Translation は、日本教育工学会論文誌に掲載された論文の一部を英訳したものです。



2026 年度「産学連携奨励賞」受賞研究

産学連携委員会 委員長 米谷 雄介

教育システム情報学会産学連携委員会は、本学会の学生研究発表会における発表の中で、学術的な観点のみならず、産業的な観点からも、その研究開発および実践内容の、社会発展への寄与や産学連携への潜在性を含む将来への期待を改めて評価し、奨励することを目的とした「産学連携奨励賞」の表彰を行っています。今年度は、2025 年度学生研究発表会受賞者リスト (https://www.jsise.org/society_research/presentation/) に掲載されている 26 件が選考対象になり、以下の 5 件が受賞となりました。

■ 電気通信大学 宇都研究室【関東地区】

パフォーマンス評価におけるハロー効果の影響を考慮した項目反応モデル

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2026/02/2025_kantou_a08.pdf

■ 公立千歳科学技術大学 小松川研究室【北海道地区】

概念マップとルーブリックを統合した対話型学習支援モデルに関する研究

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2026/02/2025_hokkaido_a04.pdf

■ 公立千歳科学技術大学 山川研究室【北海道地区】

高等学校にむけた Learning Tools Interoperability ベースのクラウド基盤型授業支援環境の構築と教員業務変容の可能性

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2026/02/2025_hokkaido_a01.pdf

■ 富山県立大学情報工学部データサイエンス学科 知能情報学講座【北信越地区】

交通事故防止啓発活動への活用を目指した 人身事故リスクの分析手法の検討

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2026/02/2025_hokushinetsu_a04.pdf

■ 香川大学 米谷研究室【四国地区】

MICE 誘致における主催者の要求整理に向けた実行性検証システムの開発

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2026/02/2025_shikoku_a04_h.pdf

選考の対象単位は、選考された発表をおこなった著者の所属する高等教育機関の研究室単位（もしくは複数研究室にまたがる場合にはプロジェクト／チーム単位）です。上記の受賞研究には、ラーニングイノベーショングランプリ 2026 (LIGP2026) の二次選考シード権が副賞として与えられました。

LIGP2026 公式ウェブサイト：<http://ligp.gingerapp.co.jp/>



2026 年度 春季研究会 開催報告

担当者： 近藤伸彦（東京都立大学），東本崇仁（千葉工業大学）
大河雄一（東北大学），米満潔（佐賀大学）
古堅裕章（九州看護福祉大学），柚木佐知子（大阪医科薬科大学）

テーマ	DX・AI 時代の学習環境／ヘルスケア分野の DX 人材育成／ SIG セッション／一般
開催日時	2026 年 5 月 23 日（土） 10:00～16:35
開催場所	早稲田大学 早稲田キャンパス
発表件数	23 件，賛助会員セッション 1 件

今年度の春季研究会は，「DX・AI 時代の学習環境／ヘルスケア分野の DX 人材育成／SIG セッション／一般」をテーマに，早稲田大学早稲田キャンパスで開催いたしました。2026 年度より再編された研究会体制のもとで開催された春季研究会では，生成 AI や DX の進展を背景として，教育システム情報学分野における新たな学習環境や教育支援の在り方に関する多様な研究発表が行われました。発表内容は，学習科学・認知科学に基づく理論的研究から，生成 AI を活用した学習支援，さらには医療・看護分野を含む実践的教育研究まで幅広く，教育システム情報学分野の学際性と実践性を反映した研究会となりました。

本研究会では「SIG-認知スキーマ・学習活動モデリング（SIG-SLAM）」特別セッションが設けられ，認知スキーマ，メタ認知，仮説検証活動などを対象とした研究発表が行われました。学習者の知識形成過程や学習活動を理論的・計算論的に捉えようとする研究に加え，誤りの可視化や AI 技術を活用した学習支援など，学習科学と教育工学を接続する研究について活発な議論が行われたことは，本研究会の大きな特徴でした。

また，教育現場への生成 AI 活用に関する研究発表も見られ，学習支援，教材設計，授業支援，振り返り支援など，多面的な活用可能性が示されました。一方で，情報機密性や教育的妥当性など，AI 活用に伴う課題についても議論が行われ，教育 DX 時代における学習支援の方向性について活発な研究交流がなされました。

さらに，ヘルスケア分野における DX 人材育成や看護教育支援に関する研究が報告され，教育システム情報学の知見を医療・看護教育へ応用する取り組みが進展していることが示されました。特に，学習支援システム，教育支援教材，FD プログラムなど，実践現場との接続を重視した研究が見られました。

本研究会を通して，生成 AI・DX 時代における教育システム情報学研究の広がりとともに，理論と実践を往還しながら教育現場へ実装していくことの重要性が改めて共有されました。

賛助会員セッションでは，サイボウズ株式会社より，業務改善プラットフォーム「kintone」を活用した情報共有や業務支援に関する発表が行われました。教育・医療分野における DX 推進への応用可能性についても示され，産学連携の観点から有意義な情報共有の機会となりました。

研究会は対面のみで実施しました。研究発表タイトルは以下の通りです。

- 計算論的認知スキーマのモデリングプロセスの検討
- ドメイン固有メタ認知知識を学ぶメタ学習の困難性整理
- L-VEIGe: 誤答画像生成による英語語彙学習支援システム — 誤概念修正のための可視化表現に対する 定量評価モデルの予備的検証—
- 誤りの可視化に基づく仮説検証活動のモデル化とスキーマ形成を指向した学習支援システムの設計
- オンライン動画教材を用いた葛藤解決スキル育成の試み—親子視聴における変化の関連の検討—
- オンライン授業動画における「顔あり」と「顔なし」の比較と考察
- 複数館での博物館学習を組み込んだ PBL が受講生の創造的自己に及ぼす影響
- 音声対話と Voice ジャーナリングを組み合わせた大学院ファイナンス教育の試み
- 情報系学生に向けた企業 IT システム教育の試行
- 情報の機密性レベルを踏まえた生成 AI 環境選択のための授業モデル —クラウド AI とローカル LLM による体験型学習を通して—
- 電子実習記録アプリにおける添削コメントの教育理論に基づく内容分析
- 大学生を対象とした食堂利用における野菜摂取行動変容を促す LINE ボットの開発
- 看護学生の臨床判断能力を育成する学習支援システムの開発
- 発達障害の特性のある看護学生支援を目的とした FD プログラム Level I オンデマンド教材の設計と多面的妥当性検証 —内容妥当性・教育的妥当性・実装可能性に関する専門家評価—
- 大学生におけるゲーミフィケーションを用いたロコモ予防トレーニングの効果検証
- 看護師の多重課題時における援助要請訓練のためのエデュテインメント教材の臨地実習指導者研修への適用
- 統計不安の日本語版尺度開発に向けた項目の検討
- 協同学習授業設計支援のための生成 AI を用いた対話型検索ツール開発と形成的評価 —教員の実践知と理論知の統合に着目して—
- 授業中の発話に基づく若手教師のフィードバックパターンの検出の試み
- 学習資料に基づく生成 AI を用いた問題作成・解説システムの試作
- 教訓化プロセス記録を用いた生成 AI による教訓化支援方法の開発
- AI 時代の高等数学教育の Quiz コンテンツの共創について
- 臨床研修人気に着目した病院 DX 人材育成環境の定量分析



研究会報告年間購読の申し込みについて

2016 年度から、印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000 円（定例研究会 4 回，特別研究会 1 回，計 5 回分を含む）
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局（secretariat@jsise.org）まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究報告年間購読希望
会員番号（お分かりであれば）：
お名前：
所属：
連絡先 e メールアドレス：
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

関東支部より活動報告



関東支部 2026 年度支部総会 開催報告

担当者：教育システム情報学会関東支部

教育システム情報学会関東支部の 2026 年度支部総会を、2026 年 5 月 30 日（土）にオンラインで開催いたしました。出席者 13 名と委任状 98 名、計 111 名により総会が成立致しましたことをご報告いたします。議事として以下の事項について提案し、ご承認いただきました。

1. 支部役員の構成

本年度の支部役員および運営委員の構成は、以下の通りです。

支部長：大河 雄一（東北大学）

副支部長：辻 靖彦（放送大学）

小島 一晃（帝京大学）

幹事：東本 崇仁（千葉工業大学）〈企画担当〉

宇都 雅輝（電気通信大学）〈広報担当〉

運営委員：

植野 真臣（電気通信大学）

柏原 昭博（電気通信大学）

加藤 泰久（東京通信大学）

國宗 永佳（千葉工業大学）

近藤 伸彦（東京都立大学）

佐々木 整（拓殖大学）

高木 正則（電気通信大学）

高橋 暁子（千葉工業大学）

田和辻可昌（東京大学）

中嶋 竜一（株式会社デジタル・ナレッジ）

根本 淳子（明治学院大学）

長谷川 理（武蔵野大学）

松居 辰則（早稲田大学）

松下孝太郎（東京情報大学）

三石 大（東北大学）

山崎 治（千葉工業大学）

山本 樹（文部科学省）〈総務・財務担当〉

渡辺 博芳（電気通信大学）

顧問：仲林 清（公立千歳科学技術大学）

3. 2025 年度の活動報告・2026 年度の活動予定

4. 2025 年度の決算報告・2026 年度の予算計画

5. その他

広報からのお知らせ



ニュース・レター発行回数変更のお知らせ

2024 年度より、ニュース・レターの発行は年 4 回となります。研究会の開催時期と異なるため、今後は、年間スケジュールおよび開催報告のみの掲載となります。開催案内と講演募集につきましては、学会 Web サイトでご確認ください。



X (Twitter) アカウントの紹介

2016 年 8 月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 X (Twitter) アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局 (secretariat@jsise.org) へお願いします。

<https://twitter.com/JsisePr>



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会の公式 Facebook ページを運用しています。本ページでは、論文・発表募集や本学会に関連するイベントの情報などをお届けしています。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

X (Twitter)、Facebook への情報掲載の依頼などは学会事務局 (secretariat@jsise.org) までお問い合わせください。



他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

- 後援：「第 37 回全国高等専門学校プログラミングコンテスト」
日時：予選 令和 8 年 6 月 27 日（土）
本選 令和 8 年 10 月 10 日（土）～ 10 月 11 日（日）
会場：サンポートホール高松（香川県高松市サンポート 2-1）
- 協賛：「日本情報科教育学会第 19 回全国大会」
日時：2026 年 7 月 11 日（金）～12 日（土）
会場：崇城大学 メインキャンパス（池田キャンパス） 熊本市
- 協賛：「情報教育シンポジウム 2026（SSS2026）」
日時：2026 年 8 月 19 日（水）～21 日（金）
会場：広島大学 霞キャンパス
- 協賛：「2026 年度工学教育研究講演会」
日時：2026 年 9 月 2 日（水）～4 日（金）
会場：岐阜大学
- 協賛：「第 28 回日本感性工学会大会」
日時：2026 年 9 月 16 日（水）～18 日（金）
会場：タワーホール船堀
- 協賛：「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2026」
日時：2026 年 9 月 16 日（水）～18 日（金）
会場：岡山大学 津島キャンパス
- 後援：「令和 8 年度日本情報オリンピック」
日時：～ 令和 9 年 3 月 25 日
会場：予選はオンライン
ファイナルステージは、東京都内の会場を予定



国際会議案内

- 24th International Conference for Media in Education (ICoME2026)
(2026年8月6日-8月8日, ハワイ)
<https://2026.icome.education/>
- The 34th International Conference on Computers in Education (ICCE 2026)
(2026年11月30日-12月4日, ニュージーランド)
<https://icce2026.csse.canterbury.ac.nz/>



会費改定のお知らせ

日頃より、会員みなさまにおかれましては、学会の事業活動の運営や維持にご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

現状の教育システム情報学会の会費は、1995年に「CAI学会」から名称の変更が行われたときより、30年間据え置きとなっております。しかしながら、全国的なコスト高の影響が学会会計にも及んでおり、事業を維持するための業務フローの改善やDXなどでの費用の圧縮に限界がきております。また、本学会の会員数についても「これまでの学会事業の維持」だけでは緩やかに減少していくことが見込まれ、5年後、10年後を見据えますと、学会の規模が縮小してしまう可能性が高くなっております。

このような背景のもと、「学会事業における新規の取り組みや事業間の連携などを行い、魅力的な学会事業を展開・発信していくことで、入会される方々を増やしていくこと」「今後も続くであろう価格・コスト高の傾向に対しても、学会事業を滞りなく進めていける財務の基盤を固めること」を目的として、2026年度より下記のとおり会費の改定（正会員の会費のみ1500円値上げ）を行います。

改定前		改定後	
会員種別	会費	会員種別	会費
正会員	7,000 円(不課税)	正会員	8,500 円 (不課税)
学生会員	4,000 円(不課税)	学生会員	4,000 円(不課税)
賛助会員	50,000 円(1 口以上, 不課税)	賛助会員	50,000 円(1 口以上, 不課税)
入会金は正会員初年度のみ 1,000 円(不課税) 研究報告の年間購読料は 4,000 円(課税)		入会金は正会員初年度のみ 1,000 円(不課税) 研究報告の年間購読料は 4,000 円(課税)	

この価格改定につきましては11月15日（土）に開催されました臨時社員総会にてご審議をいただき、ご了承を得ております。

2026年度の会費納入において上記の価格改定の通り、会費請求のご案内をいたします。会員の皆様におかれましては、誠に恐縮に存じますが、事情ご賢察賜りまして、ご理解いただきますよう謹んでお願い申し上げます。



会費納入のお願い

学会の運営は皆様の年会費で支えられております。今年度の年会費が未納の方はご入金をお願いいたします。なお、10月以降に年会費が未納の場合、学会誌の送付が一時休止されます。入金確認後、入金日の翌月末までに今年度内の未送付分も合わせて学会誌の送付を再開いたします。3月末までに入金を確認できない場合は、未送付分の学会誌はお送りできなくなりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記 Web サイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金を無料に**させて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の6名の皆様が新しく入会されました。(2026年3月26日～2026年6月25日)

本学会での益々のご活躍を期待しております！

会員名	会員種別	会員名	会員種別
田辺 大介	正会員 (購読)	堀 貴史	賛助会員からの正会員
鳥井 裕佳	正会員 (購読)	中野 良	賛助会員からの正会員
宮崎 剛	正会員 (購読)	サイボウズ株式会社	賛助会員
古山 陽一	正会員 (購読)	株式会社アクセスネット	賛助会員
宮崎 佑太	正会員 (購読)	リープ株式会社	賛助会員
金 銀珠	正会員 (購読)	植 華文	学生会員 (購読)
佐々木 隆宏	正会員	上市 善章	学生会員 (購読)
石野 亜耶	正会員	庄司 重樹	学生会員 (購読)
小谷 克則	正会員	水野 隼佑	学生会員 (購読)
古江 佳織	正会員	佐野 雄大	学生会員 (購読)
山本 学	正会員	津曲 駿輝	学生会員
有馬 宏和	正会員	大目 政敬	学生会員
日高 義浩	正会員	蘇 力鈞	学生会員
蜂巢 吉成	正会員	伊藤 海都	学生会員
相撲 佐希子	正会員	大谷 直輝	学生会員
王 笑難	正会員	岩永 和樹	学生会員
佐藤 正範	正会員	遠藤 拓真	学生会員
高橋 博美	正会員	福永 壽美子	学生会員
藪内 彰人	正会員	綿谷 孝司	学生会員
佐藤 雄太	正会員	渡邊 進武	学生会員
坂倉 忠和	正会員	島崎 遥	学生会員
田中 里実	正会員	山本 幸太郎	学生会員
石飛 守	正会員	森 楓	学生会員
青木 茂樹	正会員	鷹觜 莉子	学生会員
平原 照也	正会員	真苧坪 雅翔	学生会員
佐藤 伸也	正会員	中嶋 晃大	学生会員
兒玉 浩一	正会員	塔本 あゆみ	学生会員
實川 裕斗	正会員 (初中等)	久保田 志保	学生会員
唐松 教夫	賛助会員からの正会員	坂村 樹	学生会員
藤村 能光	賛助会員からの正会員	河内 悠二郎	学生会員
深澤口 知絵	賛助会員からの正会員	萩谷 祐紀	学生会員
渡辺 郁子	賛助会員からの正会員	牧野 拓斗	学生会員
荒木 恵	賛助会員からの正会員	田中 大雅	学生会員

会員名	会員種別	会員名	会員種別
澁谷 一真	学生会員	後藤 優太	学生会員
喜多 俊介	学生会員	加納 泰斗	学生会員
榎田 裕介	学生会員	川崎 陸翔	学生会員
柴田 真奈	学生会員		